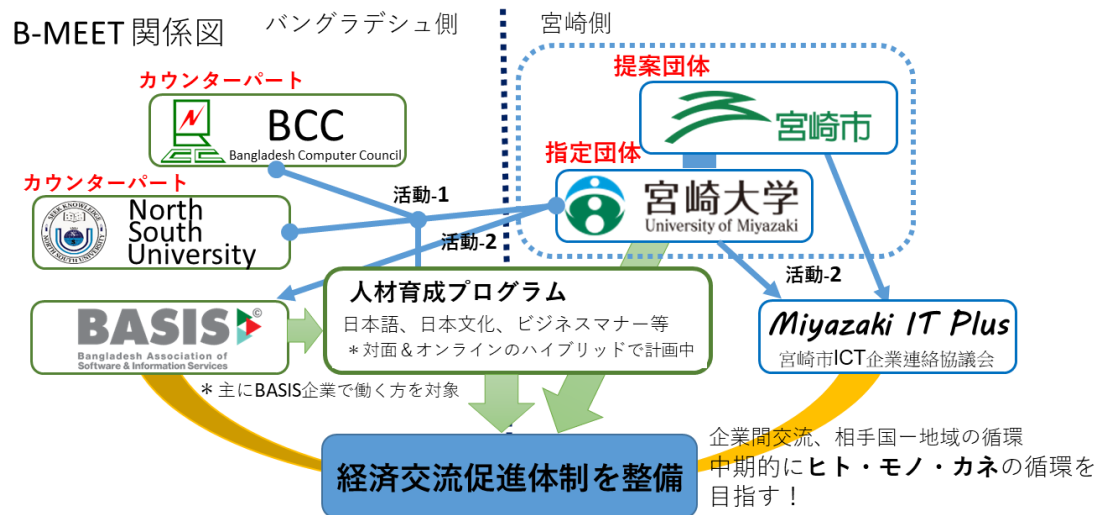




取組の様子



期待できる成果・評価 など

事業活動において、(1) バングラデシュー宮崎の経済交流促進に資するバングラデシュ側の人材育成体制の強化、(2) バングラデシュ側における宮崎との経済交流拠点の整備、が進展し、宮崎とバングラデシュが経済・技術・人的な交流を深める。

交流を発展させてバングラデシュの日本との経済交流の活性化、経済発展の一助とし、宮崎の国際化・活性化にも寄与する、バングラデシュー宮崎の間における、継続的なヒト・モノ・カネの循環を目指す。

参考URL

JICA草の根技術協力事業採択案件一覧: <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/country/bangladesh.html>

特色ある取組

JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠) 2020年として採択された、宮崎市(提案団体)と宮崎大学(指定実施団体)による事業「宮崎ーバングラデシュICT人材育成事業」通称、**B-MEET: Bangladesh-Miyazaki Engineers Educational Training**。

バングラデシュのICT企業は日本企業との業務の機会を求めており、宮崎の産業界は地域活性化・国際化に課題を抱えている。そこで、双方の課題解決のため、宮崎とバングラデシュの人と企業とが出会い、双方の経済交流促進体制を整備することを目標とする。

主に次の2つを行う。

- (1) バングラデシュで働く若手ICT人材に対して、宮崎・日本との交流人材となるよう、B-JETで連携するノースサウス大学の協力を得て、日本型ビジネスやビジネスマナー、日本語コミュニケーション等を研修する。
- (2) 宮崎市、宮崎大学、バングラデシュ・コンピュータ評議会: BCC等の連携・支援のもと、宮崎市ICT企業連絡協議会が、「宮崎ーバングラデシュ・モデル」で加盟企業に所属のバングラデシュ人ICT技術者の活躍を背景に、バングラデシュのICT産業団体: BASISとの経済交流を推進する。